



サイエンスレクチャー2025

開園100周年を記念し開始したサイエンスレクチャー、植物や多様性保全、植物園に関わるさまざまな話題を、専門家がわかりやすく解説します。

時間：13:30~15:00（受付13:00~）

場所：植物園会館 2階 多目的室、定員60名（受付13:00~先着順）

主催：京都府立植物園・京都府立大学新自然史科学創生センター・
きょうと生物多様性センター

2025年9月14日(日)

牧野富太郎が見た“ふつうの草”は今どこに？ ：イヌノフグリと外来種の物語

滋賀県立大学 高倉 耕一 氏



お問い合わせ先 京都府立植物園 京都市左京区下鴨半木町 TEL 075-701-0141

■入園料 一般500円 65歳以上・高校生250円 中学生以下無料 ■入園時間 9:00~16:00(17:00閉園)

※時期により時間延長、早朝開園等を実施します。

※入園料のみで観覧温室にもお入りいただけます ■温室入室時間 10:00~15:30 (16:00閉室)

※障害者の方及び介護者の方（証明できるものを提示）は入園料無料

■アクセス JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」から地下鉄「北山駅」下車3番出口すぐ又は同「北大路駅」車3番出口から東へ徒歩約10分

◆ご来園には地下鉄・市バスをご利用ください◆



京都府立植物園100周年記念 学術講演会

サイエンスレクチャー2025

7月27日(日)

「カキの虫こぶ葉巻に棲むアザミウマの謎」

中尾 史郎(京都府立大学教授)

8月3日(日)

「カブトとクワガタ集まる樹液酒場はカミキリムシのおかげ？」

:カミキリムシと植物との深い関係」

谷垣 岳人(龍谷大学准教授)

8月10日(日)

「アゲハチョウが教えてくれる生きもののつながり

～好き嫌いのヒミツを科学する～」

尾崎 克久(JT生命誌研究館 研究員)

8月17日(日)

「花と虫:ともに歩んだ1億年」

加藤 真(京都大学名誉教授)

9月14日(日)

「牧野富太郎が見た“ふつうの草”は今どこに？」

:イヌノフグリと外来種の物語」

高倉 耕一(滋賀県立大学教授)